

経営比較分析表（令和6年度決算）

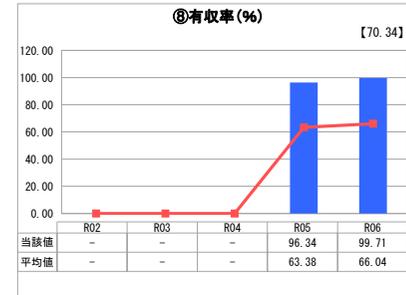
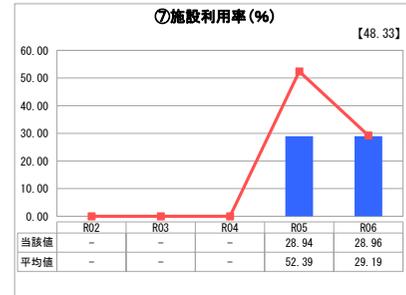
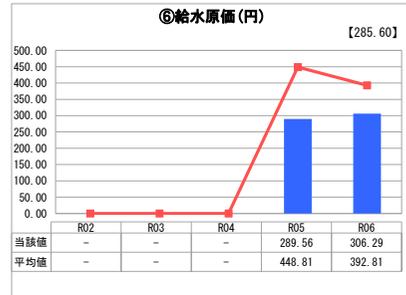
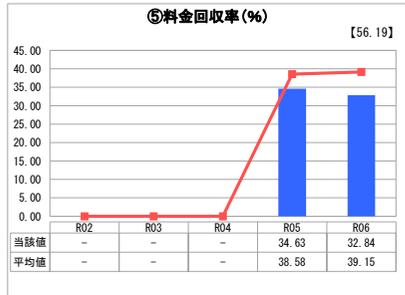
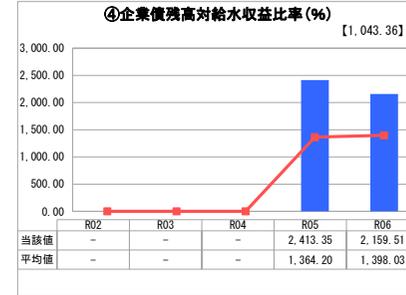
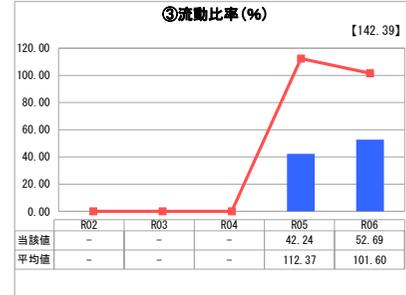
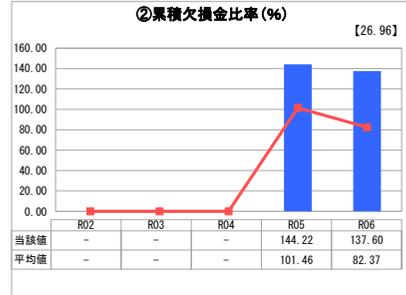
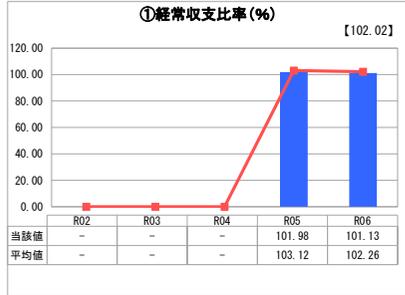
岡山県 新庄村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	53.02	99.48	1,910	

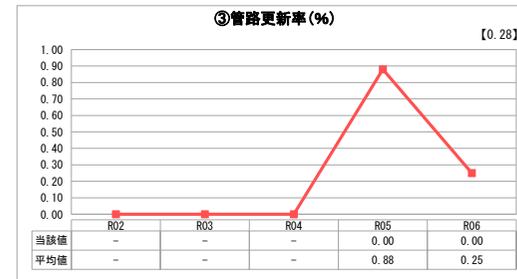
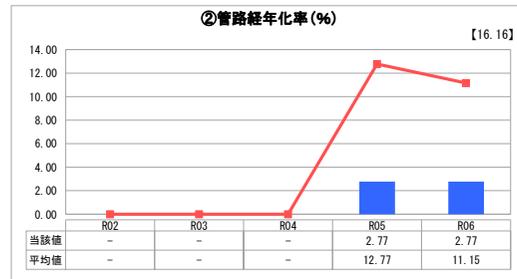
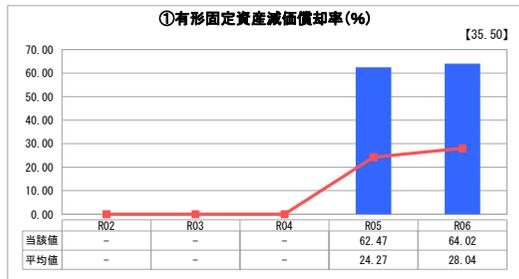
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
793	67.11	11.82
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
770	27.02	28.50

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
[]	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
100%を超えており、繰入金に依存している部分もあるため、料金改定の実施や経費の削減に取り組む必要がある。

②累積欠損金比率
類似団体平均値と比較して高い欠損金が発生しているため、今後、収益の向上に努めるなど改善していく必要がある。

③流動比率
類似団体平均値と比較して乖離は見られるが、起債の償還が要因として考えられる。後は償還金の減少とともに改善していく見込みである。

④企業債残高対給水収益比率
類似団体と比較して高い比率となっているが、昨年度よりも減少しており、後は償還金の減少とともに改善していく見込みである。

⑤料金回収率
100%を下回っているため、料金改定の実施や経費の削減に取り組む必要がある。

⑥給水原価
類似団体平均値と比較して低い数値であるが、人口減少が当該指標に大きく影響しており、さらに物価高騰等による経費の増加も継続する見込みである。昨年度より数値の上昇がみられ、今後も上昇傾向にあると思われる。

⑦施設利用率
類似団体平均値が大幅に低下する中、ほぼ横ばいの数値となっている。人口減少に伴う給水量の減少により、当該指標は緩やかに低下していくと考えられる。

⑧有収率
類似団体平均値と比較して高い水準となっているため、今後も維持に努める。

2. 老朽化の状況について

耐用年数は超えていないものの、管路の老朽化は進行していくため、計画的な更新を行うとともに、有利な起債の選択など財源確保に努める。

全体総括

今後の事業運営について、人口減少が進む中、給水収益は減少傾向で推移すると可能性が高い上、管路や施設の老朽化も進行していくため、一般会計からの繰入金にさらに依存する可能性が高まる。料金改定を実施するなど収益の向上を図るとともに経費の削減に取り組みつ、計画的な管路の更新を図り、長期的に改善していくよう努める。